

「健康という魚を釣る」

「魚を一匹くだされば、私は今日それで生きられます。しかし、私に釣りを教えてくだされば、私はいつまでも生きられます」

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

寒さの中にも春への希望を感じさせてくれる梅の開花の便りが届きました。今なお新型コロナウイルス感染症拡大に歯止めがかからない状況が続く、警戒しながらの日々が続いていますが、このような中でも健やかな成長を見せてくれる子どもたちの姿に頼もしさを感じます。

私たちは生活していく上で一人では知り得ないことは多く、教えてもらったりアドバイスをもらうことで物事がスムーズに進むことがあります。その中で、大切にしたいことは魚(答や結果)のみを知るのではなく、釣り方(やり方や解決方法)を考えて行くことだと思います。なぜ?と疑問が浮かび、何だろう?と不思議に思った時、気づきや想像、ひらめきや知恵を絞り、工夫していくことで思考力や創造力を身に付けていきます。そして、一生懸命考えたり、試したりを繰り返し、面白さや満足感を得て次への行動を起こすメンタルや持続力も育てていけるのだと思います。子どもたちは遊びや生活の中で、色々な出来事や身の回りの事象に興味関心を持ち過ごしています。今年度は一年を通し「様々な音に触れ感性を育む」をテーマに活動を行いました。五感を働かせ、感じ、考え、工夫した、いつもの体験が作品という形になっています。そこへ至るまでの成長過程や子どもたちの姿を写真などでも見て頂き、保護者の皆様と一緒に子どもたちの大きな成長を喜び合いたいと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子
職員一同

2月聖句

愛は、すべてを完成させるきずなです。

コロサイの信徒への手紙3章14節

2月主題

「いっしょにね」0歳

- ・保育者の祈りに合わせて、神様に祈る。
- ・散歩して冬の外気にふれて、元気に過ごす。
- ・保育者や友だちと一緒にいることを喜ぶ。

1・2歳

- ・イエスさまを身近に感じる。
- ・友だちと関わりながらごっこ遊びを楽しむ。
- ・思いや遊びが尊重されて安心して過ごす。

～子どもたちの姿～

凜とした寒さの中にも、心地よい晴天の続くこの頃、冬ならではの遊びや羽子板やコマなどの伝統的な正月遊びを通し季節を感じています。凧製作では好きな色や模様の紙を選び、テープでビニールに貼り付けました。自ら作ったものはひときわ愛着が湧き、遊ぶことを心待ちにしていました。戸外に出ると、初めは紐を持ち歩いていましたが、走った友達の凧が浮いた様子を見ると「あがった」と大喜びで、競争のように走りだし凧揚げを楽しんでいました。しばらくすると「音がするんだよ」とたくさんの飾り紙がこすれ合う音に気づき「カサカサって言うてる」と友達に伝え、手で触れる様子も見られました。様々な音に触れる経験を積み重ねたことで子どもたちは聴力が高まり、身体や言語、コミュニケーションなどの成長も育まれています。子どもたちの感性が育まれる活動を今後も取り入れ育ちを支えていきたいと思っています。

【2月の讃美歌】

イエスさま こどもを

【2月のうた】

まめまき
鬼のパンツ

	月	火	水	木	金	土	日
2月の予定表	1	2 節分会	3	4	5	6	7
	8 作品展(~12日)	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19 避難訓練	20	21
	22	23	24 天皇誕生日	25 誕生会	26	27	28

◎日中の気温差が激しいため、着脱しやすい服装での登園をお願いいたします。
◎8日～12日は作品展があります。詳細については後日お知らせします。